

【学校教育目標】
 ○広く豊かな心を持つ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える
 【目指す教育像】
 ○一人一人を大切に教育
 【目指す生徒像】
 ○主体性を持ち、自他を大切に生徒
 ○正しい知識と判断力を身に付けた生徒
 ○夢や目標に向かって何度でもチャレンジし続ける生徒

館林市立第三中学校 令和8年度学校だより

【発行者】第19代校長 橋本文明



全校一心

FINAL STAGE
 -「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」-

令和8年6月22日(月) vol.4

あぁ 我が第三中学校③

【第17号／昭和63年度／3年生文芸作品より】

昭和63年度とは、S63.4.1～S64.1.7～H元.3.31までの期間。1年生6学級、2年生8学級、3年生7学級もありました。

3年女子・文芸作品「昭和から平成へ」

昭和には戦争もあった／(中略)／昭和にあった不幸なことが今度の元号「平成」によってなくなって／新たにこれから築く私達によって平成がいつまで平和でいられるかも決まる／(中略)／「平成」平和成り／本当に平和であってほしいな

市中体連夏季大会の結果

全力・粘り強く・やり切った



5月30日(土)のソフトテニス団体戦を皮切りに、6月13日(土)のサッカー・体操・卓球まで、3年生を中心とする熱い大会が終了しました。残すは、7月4日(土)に行われる水泳のみとなりました。どの競技も、力一杯に自分やチームのベストを出していました。新人戦よりもグンと力がついていて、心がしびれたり感動したりしたプレー・演技・力走を三中生は随所にみせてくれました。ありがとう！

残念ながら県大会以上へ参加できない3年生は、部活動は引退となりますが、部活動で培った粘り強さや友情を、次の目標へ向けて発揮してもらいたいです。大変お疲れ様でした。

県大会以上に出場できる生徒は、出場がかなわなかった三中の生徒や君たちに敗れた他校の生徒のためにも、館林市代表として誇りを持ってやり切ってきてほしいと願っています。

団体戦

(県)は県大会出場

- ◆ソフトテニス 男子：5位、女子：4位
- ◆バスケットボール 男子：5位、女子：3位
- ◆バレーボール 男子：準優勝
女子：優勝(県)
- ◆陸上競技 男子総合：3位
女子総合：3位
- ◆サッカー 優勝(県)
- ◆野球 3位
- ◆卓球 男子：準優勝
女子：4位
- ◆体操 女子：優勝(県)



個人戦

(県)は県大会出場

- 陸上競技(3位まで)
 <男子>・1年100m走 2位(県)
 ・共通400m走 1位(県)、3位
 ・共通3000m走 1位(県)
 <女子>
 ・3年100m走 3位
 ・共通走高跳 1位(県)
 ・共通砲丸投 1位(県)
 □体操女子 ※規定により、女子団体優勝メンバーは個人での県大会出場はできない
 ・個人総合 2位、3位、6位
 ・ゆか 2位、3位
 ・平均台 1位
 □体操男子
 ・個人総合 (県)
 □卓球 男子：5位(県)
 □バレーボール
 ・男子：優秀選手賞(1名)
 ・女子：最優秀選手賞(1名)
 □サッカー ・最優秀選手賞(1名)
 ・ベストイレブン(9名)

吹奏楽部は7月23日に
 東部地区吹奏楽コン
 クールが行われます。



校内少年の主張

5月29日(金)

「生徒が日常生活を通じて感じていることや考えていることを、発表したり聞いたりしあうことを通して、自らの家庭生活や学校生活を振り返らせ、正しい社会観や自立心を育てると共に、よりよい生き方を考えさせていくための契機とする」ことを目的として、毎年開催しています。

国語の時間に全校生徒が自己の主張を文章化し、学年で発表会を行い学年代表を2名選出、その後計6名で本会を行いました。

1年生

「『普通』って何？」男子
 「言葉の本当の力」男子

2年生

「この文章はAIが考えたものではありません」男子
 「『言葉』という道具」女子

3年生

「AIと愛」女子
 「『決意』と『感謝』」男子

※敬称略

審査員の校長・教頭・学年主任・国語科担当教員で審査した結果、学校代表として3年生の二人が選ばれました。二人は6月27日(土)13時30分<日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール>にて、館林市少年の主張大会に出場します。

「館林市の名勝である「つつじが岡公園」を訪れ、子房摘みボランティア活動を通して、より美しいつつじを咲かせるための過程を学ぶ。また、活動することで郷土愛を感じ、つつじが岡公園の歴史や成り立ちを学習する」ことを目的として活動に行ってきました。

担当者からの説明を聞き、約1時間行いました。最初は「どれが子房？」と困惑していましたが、だんだんと慣れていくと何回も経験しているかのように手際よく摘んでいました。



2年生福祉体験

6月9、16日(火)

2年生1学期の総合的な学習の時間のテーマは『福祉』。

そこで、「疑似高齢者体験」「車いす体験」「手話講習」「点字講習」の4つの講座を2日間をかけて全て体験しました。

体験活動を積極的に授業に採り入れ、自分事となるような深い学びを目指します。



3年生子房摘みボランティア

6月5日(金)

